

二階氏「党として頑張る」

「年内に
方向性」

自民に知事ら要望



【東京支社】国際リニア
コライダー(ILC)の東

北誘致を目指す達増知事ら
県内の関係者は8日、日本
政府が誘致について年内に
前向きな方向性を打ち出す
よう自民党国会議員に要望
した。二階俊博幹事長は「党
としても頑張っていきたい」

と答えた。

東京・永田町の党本部で
は達増知事、鈴木厚人県立
大学長、谷村邦久県ILC
推進協議会長が二階氏、党
地方創生実行統合本部の河
村建夫本部長と懇談。鈴木

俊一五輪相(衆院岩手2区)
を加えた4者連名の要望書
を提出した。

達増知事は「地元として
も準備を進めており、年内
にも誘致を決定してほし
い」と協力を求めた。谷村
会長は建設段階から「20年
間で5兆7190億円」と
するILCの経済波及効果
の独自試算を説明した。

一部非公開で、出席者に
よると二階氏は「党として

も頑張っていきたい」と応
じたという。

ILCを巡っては、河村
氏が会長を務める超党派
の国会議員連盟が自民党の
関係組織を加えた連絡協議
会を今月にも設立する予
定。協議会参加が予定され
る超党派連「科学技術の
会」の細田博之代表、自民
党知的財産戦略調査会の甘
利明会長らへも要望を行っ
た。